

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

# 健康新聞

発行人 新健康協会

〒813-0001  
福岡市東区唐原6-7-1  
TEL:092-661-1531  
https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十五年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

## 宗教の観方

世人が宗教を見る場合、甚だ正鵠を得ていない事に気がつく。それは宗教なるものの地位である。というのは、宗教は他の何ものよりも最高に位するものであるからである。故に哲学も、道徳も、科学も、宗教からみれば以下の存在であるのは勿論である。ところがそれを知らない為、宗教哲学等という言葉があるが、これは宗教を哲学的に解釈しようとするもので、全く逆である。形而上のものを形而下の理論で解こうとするのである。何となれば、宗教は神が造ったものであり、哲学は人が造ったものであるからである。又、宗教と道徳とも違う。勿論道徳も人が造ったもので、ただ哲学と違うところは、哲学は科学的西洋的であるに反し、道徳は心理的東洋的のものである。又、科学は哲学や道徳に比べて一層形而下的で、宗教と隔たる点の最もいちじるしい事はいうまでもない。

以上によってみても、現代有識者の宗教観が如何に当を得ていないかが分かるであろう。しかし右を今一層徹底してみるとこういう事になる。元来哲学とは、人間の創造的理論の組立によって今日に至ったものであるから、宗教と比べる時その価値はおの

ずから明らかである。究極するところ、壁にぶつかってどうにもならなくなる。その証拠には、哲学は研究すればする程迷路に落ち込み、懐疑は懐疑を生み、到底結論は得られない結果、厭世的になりやすく、極端なのは自殺によって解決しようとするものさえあるくらいで、これは誰も知るところであろう。

次に、道徳であるが、これは今日まで相当人類社会に貢献したのは勿論であるが、これとても有能者の頭脳から生まれた一種の戒律的人心を改善するものであるから、人間の魂を根本的に揺り動かす事は出来ない。のみならず、昔の日本なればイザ知らず、今日のごとく一切が西洋文化に支配されている以上、道徳という東洋的なものでは、最早今日の間を納得さす事は出来得ない。何よりも道徳の影は漸次薄れつつあるにみて明らかである。

次は、唯物理学であるが、これは我等が常に批判しつつあるところで、今更言う必要はないが、とにかく、現在文化といえは、科学そのものとしていくらか、文化の進歩とは科学の進歩と見ている現状である。ところが、科学の進歩によって人類の幸福が如何に増大されたかは疑問である。むしろ正比例的に不幸の増大をさえ思わしむる事実である。今日恐るべき原爆戦争の脅威に晒されている世界人類をみれば、多言を要しないであろう。

ここにおいて、一体、全人類は一部の例外を除き、何を望んでいるであろうかを検討してみる時、言うまでもなく幸福そのものである。科学の進歩発達も、人類の幸福を目的としたものにほかならないが、悲しいかな、事実はその逆でさえある。とすれば、その根本を探究する事こそ今日の急務であらねばならないのである。

さきに述べたごとく、哲学でも道徳でも科学でも解決の力がないとすれば、宗教以外に何かあるであろうか。この点識者においても気のつかない事はなからうが、事実宗教といえは現在までの既成宗教を標準としている以上、既成宗教によって右の条件を解決出来ようとは思えないのである。従って、人類の幸福などはいつの日に達成さるべきか見当さえつかないのである。何となれば、実に暗澹たる世相である。

然るに、以上のごとく諦め切ってしまった世界へ出現したのが、我等の超宗教的一大救済力である。おそらく何人も夢想だもしなかつたもので、容易に受け入れ難いではあるが、しかし事実を否定する事は出来ない。何よりも一度本教の真相を知るにおいては、盲目者が開眼の喜びにあつたごとく、豁然として覚醒するので、その喜びの報告は本教刊行物に満載されているのが何よりの証拠である。故に真の幸福を得んとする人達よ、まず試みに本教に触れてみる事である。いかに美味なる食物でも、説明を聞き、眼で見るだけでは分かるはずがない。まず口へ入れて味わうべきで、味わってみて初めて分かるのである。おそらく今まで味わった事のない醍醐味に、何人といえども満足せずにはおかないであろう。

### 浄霊体験記

2ページ  
3ページ

- 新型コロナ陽性浄霊で良くなる…
- 一回の浄霊で痛みが楽に…
- つらい毎日から幸せな人生へ…
- 再発もなく安心出来た…

浄霊によって病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

風邪・骨折

新型コロナウイルス 浄霊で良くなる…



広島支部 かなもりあつこ 金森敦子 (66)

平成二十五年、夫がインターネットで知ったことをきっかけに、私も新健康協会を知りました。私たちはもともと浄霊を知っていたこともあり、すぐに支部へ行くようになりました。そして、夫は平成二十五年の七月二十日に四十八歳で入会しました。私は、その五年後、平成三十年十月二十一日、六十歳で入会しました。 浄霊を受け始めてから、様々なことで救われてきましたので、今回体験記を書きました。

私は令和四年と令和五年に風邪を引きましたが、どちらも浄霊で救われました。

令和四年の五月、最初は微熱が出始め、喉に違和感がありました。そうしている内に、今度は喉が痛くなり、唾をのみ込むだけでも激痛になりました。そのため食事も思うように出来ず、体も怠さがありました。

この時は新型コロナウイルスも懸念されている時でしたが、浄霊を続けていたおかげで、ひどい状態にはなりませんでしたが。

この状態が三カ月程続き、八月十日頃からは三日間高熱が出ましたが、祝日やお盆と重なったことで、仕事を気にすることなく、ゆっくり休むことが出来ました。また、寝込むこともなく、体も楽に過ごすことが出来ていましたので、その他の日は仕事を続けることが出来ました。これもやはり浄霊のおかげだと思えました。

令和五年の時は、八月十七日から三日間高熱が出ました。この時は病院で検査をして、新型コロナウイルスの陽性と診断されましたが、体がつらくなることはなく、薬に過ごすことが出来ました。コロナウイルス陽性となると大変だと言われていた中、このような有難い状態にしていたのも、明主様のおかげだと心から感謝申し上げます。

私は昨年の七月初め、ふとしたことでつまづき、転倒してしまいました。とっさのことで左手をついたのか、左手がグラグラするような違和感を覚えました。私はすぐに家へ帰り、夫と一緒に病院へ行き、診察を受けると「左手首の骨折です」と言われました。その上、「手術をしなくてはいけない」と言われましたので、私はとても不安になりました。その時の気持ちは今でも忘れられないほどショックでした。しばらく医師の説明が続き、私はま

だ不安なままでしたが、診断を一緒に聞き、医師と話していた夫の口調から、「これまで浄霊で救われてきたから、今回も浄霊で救われる」という強い意志が感じられましたので、私も「明主様、お願いいたします」という気持ちが強くなりました。その後、病院では副え木と包帯で骨折部分を固定してもらい自宅に帰りました。

私は島根県に住んでおり、地元には支部がないため広島支部に通っているのですが、自宅から支部まで車で四時間かかりますので、その日は支部に電話して、今回の経緯を伝えました。そして、自宅で浄霊を受けました。

翌日、早朝から夫の運転で広島支部へと向かいました。支部では二回浄霊を受けました。その時、私の左手首は腫れて黒くなっている部分もありましたが、浄霊を受けていると安心した気持ちになり、また支部にいた方々から励ましの声もいただき、とても有難い気持ちになりました。

それからは毎日自宅で浄霊を受けました。時間を見つけては、自分自身で浄霊をしていましたが、何より家族が毎日欠かさず浄霊してくれたことがとても有難かったです。おかげ様で、日に良くなっていききました。

骨折した当時は左肩にも痛みがあり、しばらく手を上げることも、腕を回すことも、背中にも手をもっていくことも出来ず、左手の一切の自由が奪われて、何をすることも時間がかかり右手だけの生活になり、本当に大変でした。しかし、夫や家族が広島支部までの運転や浄霊と、様々なことで支えてくれましたので、私は本当に有難い…と感謝でいっぱいになりました。

その後、急激な変化はないものの薄紙を剥ぐように少しずつ良くなっていき、一カ月後の八月初めには、指が動

くようになり、副え木も外せるまでになりました。

九月には腫れ上がった手もかなり引いてきて、自分で車の運転も出来るようになりました。

十月には、少し腫れが残っているものの、支障なく普段の生活が送れるまでになりました。ゆっくりではありましたが、少しずつ快復していくことに感動を覚えました。また、この変化を見ておられた広島支部の会員さん達も驚いており、明主様の素晴らしさを実感しておられました。

今回の体験からも、一人でも多くの方が浄霊で救われることを心から願っています。

(島根県松江市)

ネパール

喉の痛み

一回の浄霊で 痛みが楽に…

ポカラ支部 ルクマニ・バタズ (66)



私は三十六歳の頃、喉に痛みを感じたので、病院に行き検査をしました

浄霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。

まずは試されてみてはいかがでしょうか。

が、原因は分からないということでした。そのため医療は受けず、神憑り的なことを試しました。しかし、一向に良くなりませんでした。

私はどうしたら良いだろうと思って、知人が「浄霊という方法があるから試してみたら」と教えてくれました。私は早速浄霊を受けに行きました。

すると初めて浄霊を受けただけで今までの喉の痛みが緩和されたのです。あれほど何をしていても良くならなかった痛みが和らぎ、食べるのが難しかった状態も良くなりました。その後、時間の合間を見ては必ず支部に行き、浄霊を受けました。

おかげ様で浄霊を続けて六カ月で完全に良くなりました。それから三十年経ちましたが再発もなく、今も元気に過ごすことが出来ています。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。心から、明主様に感謝お礼申し上げます。誠に有難うございます。

(ネパール・ポカラ)

腰痛・肩こり

つらい毎日から

幸せな人生へ…

田川支部  
太田シズ子(74)



私は今から三十六年前、三十八歳の時に浄霊と出合いました。その当時、私は頸椎の痛みで悩んでいて、それに加えて産後から始めた腰痛と両膝の痛み、リウマチのような手首の痛みなどで苦しんでいました。

膝は曲げ伸ばしの度にひどく痛み、移動する時も足を引きずる状態でしたので、いつも湿布をしていました。腰痛もひどかったので、鍼灸、マッサージ、整体など、ありとあらゆる治療を受けていましたが、どれも痛みが一时的に緩和されるだけで、根治するものではありませんでした。

その頃は自宅で新聞販売店を営んでおり、ひどい肩こりや偏頭痛もあって、体中が痛む所ばかりで、つらい毎日でした。当時、私は行きつけの洋服屋があったのですが、その店長さんは私の苦しんでいる状態をよく見ていました。そしてある時、私の様子を見かねて、新健康協会のことと、浄霊を教えてくださいました。

れました。店長さんは、新健康協会の会員だったので浄霊を紹介してくれましたが、私は信じられず、最初は素直に聞き入れられませんでした。

しかし、その後にあまりにも苦しい状態が続いたので、店長さんをお願いして田川支部に連れて行ってもらいました。それから浄霊を受けるようになって、徐々に何か変化のようなものを感じ、「これは今までと違う！」と思ひ、続けて浄霊を受けるようになりました。

そして浄霊を知ってから約一カ月後の昭和六十四年一月二日に入会しました。おかげ様でつらかった肩こりや偏頭痛も良くなりました。その後、蓄膿、盲腸、扁桃腺などで具合が悪かった三人の子どもたちも浄霊を受け、皆良くなりました。

それから現在に至るまで、明主様にお縋りして浄霊を受け、家族皆、幸せになりました。私自身、昔はたまに膝の痛みで階段がちよっと上がりづらいつつもありませんでしたが、支部で浄霊を受けると、帰りは何事もなかったかのように楽になりました。

また、以前は自宅で毎日お米を仕込む時に、立ったりかがんだりするのがとてもつらくて、スツと立ち上がれなかったのが、今では楽に出来ます。普通は年を重ねる毎に、若い時よりも痛む箇所が増え、苦痛が増していく…ということが多いと思いますが、頸椎、腰、両膝の痛み、偏頭痛、手首のリウマチのような痛みが、逆に若い時よりも、さらに楽になっております。

私は十代の頃より便秘にも悩まされ、薬を飲んでも改善されませんでした。浄霊を受けてだんだんと良い状態になってきました。約六年前の春頃から便秘が更に気持ちよくスムーズになり、とても嬉しく思っております。

そして今、私が実感しておりますのは、浄霊は体が良くなっていく健康法ということだけではなく、心も身の回りのあらゆる事が好転し、幸福になれる方法であるということです。

浄霊で一層元気になったおかげで、この御恩に少しでも報いたい、一人でも多くの方に心身共に幸せに近づいて行ける健康法をお伝えしたいと思ひ、この健康新聞の配布も積極的にさせて頂けるようになりました。以前の私では考えられないことです。

ぜひ、この浄霊を皆様に体験していただきたいと、心より強く念願しております。

明主様、誠に有難うございました。  
(福岡県田川郡)

ネパール

胸のシコリ

再発もなく  
安心出来た…

カランキ出張所  
チュリ・カンチ・タマング(56)



二〇一一年、私は四十三歳の時に右乳房にシコリが出来ていることに気が

つきました。日が経つにつれ段々と化膿してきて膿がたくさん出てきたので、病院に行つて検査をしました。すると医師から「これは手術した方がいい！」と言われたので手術をしました。これで良くなったと安心していましたが、今度は左乳房にシコリが出来てしまいました。この時も病院に行き、診察を受けると医師から「まずは三カ月間、薬を服用してください。シコリが減らなければ手術をしないといけません！」と言われました。私は、右胸を手術しても、左胸にシコリが出来ていたことを思い、手術をしても完治は難しいのかも…また違うところシコリが出来たらどうしよう…と不安になりました。

何か完治出来る方法はないのだろうか…と思っていた当時、十歳年下の私の妹(サルミラ・タマング)は甲状腺が悪く、新健康協会に浄霊を受けに行っていました。すると、浄霊で薬になつたようで、私に「一緒にカランキ出張所に行つて浄霊を受けてみたら？」と勧めてくれました。私は、手術をしなくて済むのであれば試してみたいと思ひ、出張所に行くことにしました。

初めて浄霊を受けてみると、今までに感じたことのない爽快感を受けました。何か不思議な感じで、浄霊を受けていると体調が楽でした。私は今後も浄霊を続けてみようと思ひ、その日から毎日のように出張所に行きました。

浄霊を受けている中で、左胸から膿が出ることもあったのですが、膿が出る度に胸のシコリが減つていき、薬になつていきました。出張所の方からも、これが「浄化作用」と言つて、浄霊によつて体の中の毒素が出ていく…と聞き、安心出来ました。本当に浄霊は素晴らしいと実感しました。

それから三年後、四十六歳になった時にはシコリもなくなり、手術の必要もなくなりました。とても嬉しく、心から明主様に感謝申し上げます。

その後は浄霊を受けることが当たり前となりました。そして、二〇一四年八月二日に、妹と一緒に入会し、現在でも浄霊を続けています。

胸のシコリは完全になくなり、再発もなく、転移もありません。これからもこの素晴らしい浄霊のことを一人でも多くの方にお伝えしていきたいです。

明主様、誠に有難うございました。  
(ネパール・カトマンズ)

浄化作用

人間には体内の毒素(=不純物)を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を溶かすために熱が出ます。溶けた毒素が鼻水やタンとなって排出されるので体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。浄化作用は、熱や痛みを伴うので苦しみがありますが、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにするこ

橋本関雪 《金剛山図》

大正・昭和期に活躍した日本画家、橋本関雪は一八八三（明治十六）年に兵庫県神戸市に生まれました。

関雪の絵を支えたのは、幼少から身につけていた漢学の素養でした。さらに一九一三（大正二）年に初めて中国に渡って以降、何度も中国旅行に出ており、それは三十回とも六十回とも言われているほどです。

そんな関雪は「自分の師とするものは支那の自然である」という言葉を残していますが、中国だけでなく西欧諸国や日本統治時代の朝鮮にも積極的に出かけられています。

年の二度は滞在しているようです。

金剛山は東西四十キロメートル、南北六十キロメートルにも渡る広い範囲を指す名称で、山峰の美しい展望、奇岩や切り立った岩肌の起伏に富んだ姿、滝や溪谷の清らかな光景など、さまざまな特徴の絶景を備える山地として、また寺院を抱く信仰の地として古くから知られていました。

この流行を牽引するかのようになり、当時たくさん日本人の画家たちが金剛山に赴き絵を描きました。特に日本画家にとつて金剛山の景観は南画的に映ったようで、さまざまな画家がそのような表現を試みています。

解説 松田愛子



晴明会館 「山の景」展

期間.. 令和6年10月1日(火)~ 令和7年5月13日(火)

※晴明会館お問い合わせ ☎(0992)661-1531

新健康協会総本部

福岡市東区唐原6丁目7-1 TEL(092)661-1531(代)

Table listing various branches of the New Health Association across different prefectures including Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, Chugoku, Shikoku, and Kyushu, with branch names and phone numbers.

健康新聞についてのお問い合わせ ☎(092)661-1531